

出演者リスト

マーキュリー・グリーン・クラブ 52

T1	石林紀四郎 中山 光雄	小澤 莊二 二宮 洋二	鈴木 重雄 藤原 浩	関 穎介 二名 實	田口 和義 丸山 達雄	竹本 鉄三 吉岡 省吾	中尾 丈夫
T2	幾田 雅彦 長尾 明信	池田 信彦 新田 晴男	石渡 尚夫 野村 勇雄	金井 洋 平野 真	小室 滋 藤本 淳三	篠崎 博 松田 次郎	田村啓一郎 宮内 隆造
B1	石原 隆 立川 昭夫	井上 清彦 徳山 巖	加藤 孝雄 永井 宏	黒田 修一 蓮 隆詔	佐藤 雅之 藤原 尚	高倉 勇 星加雄一郎	武田三千男 光瀬 靖彦
B2	泉原 昭夫 中島 靖之	魁生 勝祐 橋本 民生	酒井 宣彦 府川 朝次	下村 肇 村本 卓生	竹内 克弘 矢口 和彦	谷河 義久	野老 正明

六甲男声合唱団 42

T1	川本 昭男	小林 和生	佐々木英洋	竹本 鉄三※	正井 春吾	松岡 茂雄	鷺尾 隆三
T2	赤司 健 村瀬 宏※	今西 弘一 和久井 仁	河原 達	桐ヶ窪 卓	肥塚 禎夫	寺井 洋一	花岡 亜光
B1	浅野 洋 堀内 丈義	伊原吉之助 前田 豊治	浮田 順一 松井 嘉和	大谷 遷 松村 恭一	加輪上敏彦 安田 稔	佐々木道治 山本 和洋	深井 邦男
B2	東 尚良 長央徳太郎	石井 陽一 永岡 昇司	井上 和雄 堀尾 和也	岸田賢一郎 増川 真澄	田中 安夫 矢内 忠雄※	谷河 義久※ 吉田 哲朗	土居 宗一

(注) ※印は、東京六甲男声合唱団からの出演者

東京南漣会合唱団 36

T1	天野 英樹 望月 豊	井上 英康	岡本 直久	鎌田 禮章	田和 達夫	長田幸一郎	原田 佳晃
T2	桂 晃一 森谷 泰明	黒田 俊之	小林庄次郎	里山 泰志	鶴田観治郎	永田 利地	宮内 隆造
B1	今井 啓太 富増 和彦	川上 彰一 宗像 弘信	木田 豊	周藤 克志	田中 利治	徳山 巖	野津 直樹
B2	井上 嘉雄 中川 博義	上村 正昭 名和 秀記	掛谷 正宏 平手 彰	北野 友一 柚木 裕史	諏訪部和彦	高橋 憲雄	中川 清

南漣会合唱団 45

T1	尾崎 納 古川 武士	齋藤 三朗 松波 謙至	新 栄一郎 森本 眞一	杉方 順二	月川 兆	福野 成雄	福家 伸治
T2	今西 弘一 丸尾 嘉重	今村 肇 村山 徹郎	大内 一 山田 稔	白石 太良 米田 直也	戸田 勝	服部 榮治	藤田 徹夫
B1	石井 欽三 廣岡 孝一	石川 健夫 松田桂一郎	石原 潤一 横田 卓郎	太田 一忠 山内 荘作	瀧井 尚志	谷岡 昇	辻 秀郎
B2	赤崎 弘平 田中 彰一	今道 隆夫 三栖 隆	上木 喜昌 宮田 潤	小倉 裕 森田 清	鎌木 武男 安井 永	佐々木康弘 和田 昭夫	下伊豆哲央

一緒に歌いませんか?

連絡先

マーキュリー・グリーン・クラブ

井上 清彦 Tel.042-575-4616 【練習場】東京都豊島区池袋 東京芸術劇場B2リハーサル室
http://old2.josuikai.net/circle/mgs/ E-mail:k-inoue3@jcom.home.ne.jp

六甲男声合唱団

藤原 達也 Tel/Fax 0798-20-2282 【練習場】大阪市中央区堺筋本町 大阪産業創造館15F
http://www.eonet.ne.jp/~rokko-mc1954/top.html E-mail:tatsuya_fujiwara@nifty.ne.jp

南漣会合唱団

尾崎 納 Tel/Fax 0742-47-7554 【練習場】大阪市西成区岸里 大フィル会館練習場
http://www.nanreikai.com E-mail:osamu2009@maia.eonet.ne.jp

旧三商大OB男声合唱団 第5回 交歓演奏会

マーキュリー・グリーン・クラブ

(一橋大学 OB 合唱団)

六甲男声合唱団

(神戸大学 OB 合唱団)

南漣会合唱団

(大阪市立大学 OB 合唱団)

2011年11月27日(日)

大阪国際交流センター 大ホール

開場 午後1時30分 開演 午後2時

ごあいさつ

本日は私共の第5回交歓演奏会にご来聴いただきありがとうございます。

第二次世界大戦以前から戦後の昭和24年の学制改革まで、現在の一橋大学、神戸大学、大阪市立大学は、三商大（東京商科大学、神戸商業大学、大阪商科大学）と呼ばれ、体育系各クラブ、文化系各クラブ、それにゼミナールなどで交流が盛んでした。

学制改革により新制大学となり三大学の形態は変化したものの、旧三商大時代からの交流は引き継がれ、昨年＝2010年2月には三大学の間で、新たに教育交流協定が締結されています。

半世紀にわたり続いてきた現役学生による交歓演奏会は、各大学とも女子学生の増加などの原因で部員集めに苦戦し、残念ながら中断に追い込まれましたが、一方、OBを母体として発足し合唱活動をつづけていたマーキュリー・グリーン・クラブ、六甲男声合唱団、南漣会合唱団の三つのOB男声合唱団は、2003年東京での開催を第1回として、隔年持ち回りで「旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会」を開催、今年は第5回として大阪で2度目の開催の運びとなりました。

もっとも、各合唱団とも旧三商大OB合唱団として発足しましたが、現在は団員をOBに限定せず同好の士を仲間を迎え入れ、一般の男声合唱団として活動しております。

OB合唱団には年齢制限や卒業がありませんから、ステージには高齢者も目立ちますが、全員、歌に対する心は青春そのものです。半世紀あるいは数十年前の青春時代に舞台上で得た感動を想起し、それぞれの演奏曲目に挑戦いたします。

どうか最後までお楽しみいただければ幸甚に存じます。

2011年11月27日

マーキュリー・グリーン・クラブ
六甲男声合唱団
南漣会合唱団



2009年11月29日 旧三商大交歓音楽会 於 大田区民ホール
合同演奏「月光とピエロ」

Programme

マーキュリー・グリーン・クラブ

指揮：永井 宏 ピアノ：中野 マリ ピアノ：仕入 順子

オペレッタ「こうもり」より 『蝙蝠のワルツ』

J. STRAUSS II 作曲 蒔田 尚昊 編作

六甲男声合唱団

指揮：田中 安夫 ピアノ：島崎 央子

望郷 ふるさと～祖国に寄せて

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. Finlandia Hymni | J. Sibelius 作曲 V. A. Koskenniemi 作詞 |
| 2. バイカル湖のほとり | ロシア民謡 田中 安夫 編曲 |
| 3. Home, Sweet Home | H. R. Bishop 作曲 J. H. Payne 作詞
Ralph Hunter & Robert Shaw 編曲 |
| 4. Deep River | Spirituals H. Burleigh 編曲 |
| 5. Nabucco: Va Pensiero | G. Verdi 作曲 |
| 6. 南村 | キムドンファン 作曲 イスンギョ 編曲 |

● ● ● Intermission ● ● ●

南漣会合唱団・東京南漣会合唱団

指揮：山田 稔 ピアノ：石幸 千照

男声合唱組曲 「水のいのち」 高田 三郎 作曲 高野 喜久雄 作詞

1. 雨 2. 水たまり 3. 川 4. 海 5. 海よ

合同合唱 マーキュリー・グリーン・クラブ／六甲男声合唱団／南漣会合唱団・東京南漣会合唱団

指揮：山田 稔

SPIRITUALS (黒人霊歌)

Bill Anderson 編曲

- | | |
|---|--------------|
| 1. Sometimes I Feel Like A Motherless Child | 時には母のない子のように |
| 2. When The Saints Go Marchin' In | 聖者の行進 |
| 3. Michael | 漣げよマイケル |
| 4. Battle Hymn Of The Republic | リパブリック讃歌 |
| 5. Joshua Fit The Battle Of Jerico | ジェリコの戦い |

マーキュリー・グリー・クラブ (MGC)

オペレッタ「こうもり」より

『蝙蝠のワルツ』

J. STRAUSS II 作曲 蒔田尚昊 編作

『「蝙蝠」のワルツ』(男声3部合唱)(ヨハンシュトラウスII世作、喜歌劇「蝙蝠」より)

編作者蒔田尚昊氏は、「青きドナウ」張りの本格的ワルツ造りを志し、喜歌劇「蝙蝠」に登場するボルカヤワルツを素材に「蝙蝠」の魅力がこの1曲で堪能できるように工夫し、おまけに伴奏には2台のピアノを使う凝りようです。(本日は連弾に代えて演奏します)。

劇は3幕、合唱は1幕目(アイゼンシュタイン家広間)と2幕目(オルロフスキー公爵邸舞踏会)の曲からの編曲です。1874年の大晦日、舞台はオーストリアの温泉地。当時ハプスブルク帝国は財政破綻、株式暴落等恐慌状態で、喜歌劇もかなり刹那的です。

その昔アイゼンシュタイン侯爵は仮装舞踏会の帰り、酔った友達のファルケを「こうもり姿」で街中に放置しました。「こうもり博士」と侮蔑されたファルケは、今夜のロシア貴族オルロフスキー公爵邸での舞踏会の余興「こうもりの復讐」で仕返しを図ります。

第1ワルツ(2幕舞踏会)舞踏会の司会者ファルケが参加者に「お互い兄弟関係になりましょう。君・僕と呼び合い仲良くしましょう。」と呼びかけ、「復讐劇」を開始します。

第2ワルツ(2幕の終幕)「トララ・何と素晴らしい宴」「歓楽万歳」と派手な全員合唱。

第3ワルツ①(2幕舞踏会)姉のイーダに誘われ、侯爵夫人ロザリンデの衣装を着た小間使いのアデーレ扮する女優オルガが登場。「家の小間使いに似ている」と言われたアデーレは、「侯爵様、少しお利口になって」「この間違は、とても馬鹿げているわ」と侯爵をからかいます。

第3ワルツ②(1幕)昔の恋人アルフレートと密会中のロザリンデは、侯爵の逮捕に来た刑務所長フランクを「こんな夜更けに打ち解けられるのは主人だからよ」と見事に騙します。

第4ワルツ(1幕)公務執行妨害罪で刑務所に収監される予定の侯爵に向かって、ロザリンデが「あなたなしで8日間も、寂しくてどう暮らせばいいの!」と歌います。

第2ワルツがウィーン風に華々しく繰返され終了します。

(下村 肇)



指揮 永井 宏 (ながい ひろし)

マーキュリー・グリー・クラブ常任指揮者
一橋大学卒業。在学時代一橋大学男声合唱団コール・メルクル指揮者。指揮法を荒谷俊治氏(現在日本指揮者協会会長)、故浜田徳昭氏に師事。

ピオラを東義道氏に師事。アマチュアオーケストラや合唱団の指導に豊かな経験を持つ。

女声合唱団コールアネモネ常任指揮者。
三井住友海上管弦楽団名誉指揮者。



ピアノ 中野 マリ (なかの まり)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。お茶の水女子大学大学院修士課程修了(演奏学)。西尾悠美子、富本陶、遠藤秀一郎の各氏に師事。

東京交響楽団などオーケストラとピアノ協奏曲の共演。

アメリカ・ペンシルバニア州の音楽祭、中国音楽家協会の招聘による北京、成都、瀋陽でのリサイタルが好評を得た。

2000年よりマーキュリー・グリー・クラブのピアニスト。



ピアノ 仕入 順子 (しいれ じゅんこ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。柳澤美枝子、片山敬子の各氏に師事。JMLセミナー入野義朗音楽研究所にて平尾はるな氏、松永加也子氏に現代音楽演奏法を学ぶ。

ポワチエ夏期音楽大学にてヴラド・ペルルミュテル氏、ザルツブルグ夏期国際音楽アカデミーにてクロード・エルフェ氏のマスタークラス修了。アカデミーコンサート出演。2005年より毎年、連弾および2台ピアノのデュオコンサートを開催する他、伴奏などの分野で活動中。

Profile

マーキュリー・グリー・クラブ(以後MGCと言います。)は、発足後12年を経た男声合唱団ですが、この間に培われたMGCの姿を紹介します。

MGCは一橋大学男声合唱団のOBが立ち上げた合唱団ではありますが、発足当初から“団員は出身大学を問わないこと”、即ち混血合唱団を目指すことを明確な方針として来ました。その結果、現在、実働団員数55名の内の4分の1が一橋大学以外の大学出身者となっています。そして、一橋大学以外の大学出身者は、団員の信頼度も高く、合唱技術の向上にも団員の融和にも多大な貢献をしています。

また、MGCでは誰にも言われずに皆のため自主的に仕事をこなしたり提案したりするボランティアな活動が大変活発です。演奏会の度に団員を唸らせるDVDやCDの作成、取組む曲のMIDI(音取りツール)の作成、外国語の発音ツールの作成、練習内容の記録と団員への紹介・・・いずれも団員にとっては極めて活用頻度の高い大切なものです。こうした活動は、発足当初から現在に至るまで、闊達で調和の取れた風土を大切にしてきたことによって支えられて来たように思われます。

MGCの演奏活動は、ほぼ1年半毎の定期演奏会を中心に旧三商大交歓演奏会や海外演奏旅行などとなっています。特に海外演奏旅行はこれまで4回を重ねており、その旅行の中で家族ぐるみで寝食を共にした“付き合い”が、独特のMGCカラーを醸し出しています。

演奏レパートリーは、日本歌曲や民謡、欧米の古典音楽や歌曲など多様ですが、日本を代表する合唱指揮者 田中信昭先生のご指導を仰ぎ、日本の現代作品もレパートリーとしています。

若い団員の確保を図りながら、良き伝統や風土の継続・発展を求めることが、合唱技術・表現力向上とともに変わらぬ課題ではありますが、旧三商大の良きライバルから刺激を受けながらその課題の克服を期したいと思います。

(野老正明)

ESSAY 青春の輝きをいつまでも



武田 三千男

私は昭和32年(57)6月、第三回三商大交歓音楽会で、コールメルクルの指揮を担当致しました。常任指揮者、石丸泰郎先生が急病で代役という大役でした。自己流ながら必死で指揮をしたことは忘れられない思い出です。会場はその前年の秋に柿落としされた神戸国際会館大ホールでした。1500席くらいの当時ではわが国で最も大きなホールの一つ。実に晴れがましい体験でした。舞台袖から中央までの距離が長いので登壇するまで震えずに歩き方を練習するほどでした。ロンバーク「学生王子」、コール・ポーター「夜の静けさ」など、石丸先生特有の極めてシャレた選曲で、私の好きな曲でもあり、小品ながら気持ちよく演奏したものでした。

実はその前年までの二回の交歓演奏では、われわれは30名前後の人数で、大阪、神戸のグリーがそれぞれ60人くらいでしたので、演奏の水準も迫力にもはっきりと差があって、いささか情けない感じを持ったものですが、私が指揮した第三回には団員60数人で歌ったので、人数では互角の舞台だったと思っています。私自身の青春の輝ける一コマです。記録によれば諸先輩がその経費の一部を捻出するために、有名音楽家を招いて演奏会を開いたり、ご苦勞の賜物であるのも忘れてはならないことです。こうした歴史の上に、今、OBたちが同じような交歓演奏会を開けることは感銘深いことであり、いつまでも青春を謳歌していきたいものです。

六甲男声合唱団



《望郷》ふるさと～祖国に寄せて

“ふるさとは遠きにありて思ふもの・・・” 室生犀星は、屈折した心境の中で、このようにうたっています。加齢加速、メンバーの大半が六十路の峠をとっくに越えた今、「故郷」の二文字を目にするとき、若いときのそれとは、また違った感慨を覚えるようになりつつあるのを否認しません。「ふるさと」をうたった詩歌は数え切れず、同様に「故郷」を「故郷に寄せる想い」をうたった歌は世界各地に数多く見られます。これを「祖国」に置き換えてみると、同質の感情を覚えるのに気付きます。そして、それらは「家庭・家族・わが家」にも相通じると言えそうです。この年齢ならでは！の〈望郷／懐郷〉の念を歌い上げたいと願っています。

〈Finlandia Hymni〉 フィンランドを代表するJ.Sibeliusの交響詩“Finlandia”の中間部に現れる賛歌で、侵略に苦しむ国民の祖国独立への切なる願いが抑制されたハーモニーで感動的に歌われます。

〈バイカル湖のほとり〉 帝政ロシア末期、ツァーによる専制と農奴解放の廃止を掲げて青年将校たちが起こした「デカブリストの乱」に加わって捕えられ、流刑の身となりながら獄舎を逃れ出て故郷にもどる・・・という一連の詩をうたったもので、戦後、映画「シベリア物語」の主題歌となり、折からの歌声運動により全国に拡がりました。

〈Home, Sweet Home〉 「埴生の宿」としてよく知られる名曲。わが国では1889／明治22年、中等唱歌集に掲載されています。イングランドの作曲家H.Bishopのオペラ「ミラノの乙女」の中で歌われた歌曲で、これも映画化された〈ビルマの豎琴／竹山道雄原作〉における感動的なシーンの演出に一役買っているのは周知のとおりです。

〈Deep River〉 「わたしの故郷はヨルダン川の向こう岸、深い河を渡って約束の地に行きたい・・・」 アメリカで奴隷解放が宣言されて後、なお過酷な暮らしを強いられていた黒人奴隷達が、旧約聖書の〈出エジプト記〉において、モーゼに率いられ遙か故郷をめざし、ヨルダンを越えたユダヤの民に思いを重ねてうたった有名なSpiritualの一曲。

〈Nabucco: Va Pensiero / 行けわが思いよ、金色の翼に乗って〉 Verdiのオペラ「ナブッコ」の中で、祖国を失ったイスラエルの民が「望郷の念」と「神への祈り」を切々とうたうこの歌は、当時、オーストリア帝国の圧政下にあったイタリアの人々の独立を願う思いに一致し、今も「第二国歌」と言われるまで愛唱されています。

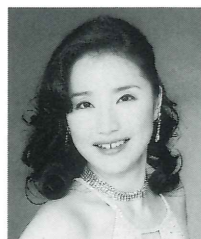
〈南村〉 南の村に南風が吹く季節が私は好きだ・・・。故郷に対する熱い思いが短調で歌われる中間部を挟んで、暖かな故郷の懐に安息の場を求める気持ちを穏やかな旋律に乗せて歌い継いでゆきます。1929(S.4)年の作品。

(田中 安夫)



指揮 田中 安夫 (たなか やすお)

1960年、神戸大学教育学部卒。在学中、神戸大学グリークラブ指揮者。卒業後は音楽教師として西宮市内小学校に勤務。1965年度こども音楽コンクール小学校合唱の部全国大会第1位。作曲を中村茂隆、川口晃両氏に師事。校歌、園歌をはじめ子どもたちのための作品多数。〈合唱団みずぐるま〉〈Coro Platano〉〈神戸少年少女合唱団コスモス〉の指揮、東京書籍版小学校音楽教科書編集委員を歴任。現在〈Cheery Mammals & Papas〉〈阪神シニアカレッジうたごえの会〉指揮者。



ピアノ 島崎 央子 (しまざき ひろこ)

神戸女学院大学音楽部音楽科器楽専攻ピアノで学ぶ。1992年、同学部を首席で卒業。1993年同大学音楽専攻科終了。山上明美、ゲーリー・スマートの各氏に師事。ハンナ・ギュリック・スエヒロ賞を受賞。第62回東京読売新人演奏会出演。神戸女学院大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。2004年より稲庭達氏と演奏活動を続けるほか、ソロ演奏でも活躍する。2010年8月にはベートーヴェン・ピアノ四大ソナタを1日で連続演奏し、絶賛を博す。また、六甲男声合唱団ほかの伴奏ピアニストも務めている。

Profile

1954年1月に誕生。母校のキャンパスがある六甲山の麓で生まれたので『六甲男声合唱団』と命名。その年の5月僅か20名で関西合唱祭に出演。少人数にもかかわらず目指すものを如何なく達成し、聴衆の称賛を得て当時の合唱界に新風を吹き込むことができました。しかし団員は同時に企業戦士でもあったため、日本経済の高度成長とともに超多忙、転勤などの事情が重なり、1967年頃活動休止のやむなきに至りました。1977年復活。1994年に40周年記念演奏会を開催。爾来隔年ごとに定期演奏会を開催。2004年には創立50周年記念定期演奏会を開催しました。一方2000年(フランス)、2003年(フランス)、2005年(ドイツ)に海外演奏旅行を行いました。今年7月には団外の多数の人々の協力協賛を得て「井上和雄と歌うモーツァルト・レクイエム演奏会」を開催。

現在、田中安夫(神戸大グリー1960年卒)、井上和雄(同1963年卒)、平林陽(同1995年卒)の三人の指揮者を擁しています。音楽監督を兼任している井上和雄氏が、自ら発声指導を行うことにより、声作りと音楽作りが有機的に一貫した方針で実践できるという、他の多くの合唱団にはないユニークな体制で、それが当団の誇るアドヴァンテージとなっています。尚門戸は男声合唱をやりたい万人に解放されており、在籍団員の2割弱が神戸大グリー卒ではありません。

(六甲男声合唱団 団長 花岡亜光)



ESSAY 旧三商大交歓演奏会の思い出・・・大阪弁の指揮者



六甲男声合唱団 音楽監督・指揮者 井上 和雄

思い出といっても、これは学生時代の事ではなくて、今日行われている旧三商大グリークラブOBによる交歓演奏会のことである。僕にとってもっともリアルな思い出は、現在のこの交歓演奏会の合同ステージの指揮をすることになって、その練習のために初めて東京に出向いた時のことである。

僕は六甲男声合唱団で長年、指揮をしてきたから、いつもの調子でやり始めたのである。ところがどういいうわけか何か話す度に、ドーンと湧く。何も皆さんを笑わそうなどと思ったわけでもないのに、一言しゃべるときに練習場がワッと来る。大阪の練習ではそんな事は一度もなかった。それでやっと気づいたのが僕の大阪弁だったのである。思い直してみれば、

東京在住というよりも関東出身者が圧倒的に多い一橋大学のOBを始め、東京の練習で集まった方々は大阪弁の指揮者など、ついぞお目にかかったことがなかったようだ。

そこで練習後の飲み屋での話も、もっぱら僕の大阪弁あるいは大阪弁一般について話に花が咲いた。そういえば僕は大学の講義でも大阪弁でずっとやって来た。大阪の商売人の息子として育った僕の大阪弁は、関西にいるかぎり抜けきらない。でもそれを機会に大阪弁の効用を改めて知ることにもなったのである。商売人の間で培われて来た大阪弁は、たくましく聞き手の気持ちを和らげ、楽しい交流を可能にしてくれる文化的財産だと思ったのである。ただ、さんまの下品な大阪弁は大阪人として願ひ下げである。

南漣会合唱団

男声合唱組曲「水のいのち」

高田三郎 作曲 高野喜久雄 作詞

作曲者の高田三郎氏（1913年～2000年）は、武蔵野音楽学校（現在の武蔵野音楽学校）・東京音楽学校（現在の東京芸術大学）で作曲・指揮を学びました。

卒業後、管弦楽曲・独奏曲・声楽曲を作曲するとともに指揮活動を行ってきました。

1950年代より合唱曲の作曲に力を注ぎ、特に詩人の高野喜久雄氏（1927年～2006年）に出会ってから、『わたしの願い』・『水のいのち』・『心の四季』・『ひたすらな道』・『内なる遠さ』等の合唱曲を作曲しました。

またクリスチャンでもあった高田氏は典礼憲章に基づき、数多くの典礼聖歌も作曲しています。

指揮者としては放送などでの活動の後、自作の曲のみの指揮をするようになり、最晩年まで作曲・指揮活動を続けました。

今回の演奏曲『水のいのち』は高田氏の合唱作品の中でも、特に名曲として人気が高く数多くの合唱団が演奏してきています。

混声合唱曲として作曲され、その後女声合唱曲・男声合唱曲に編曲されました。

男声合唱としての初演は1972年のクローバー・クラブで、それ以降多くの男声合唱団が演奏してきました。

合唱組曲『水のいのち』は5曲で構成されています。

水の姿を通してひとの心を歌い上げます。

1. 雨 静かに降る雨が地上のすべてのいのちを育みます。
やさしい慈愛の雨が降り注ぎます。
2. 水たまり 雨の後、地面のわだちのくぼみにできる水たまり。
流れることもできず、澄むこともできず、消えうせていく水たまり。
水たまりの泥の中に人間の世界の醜さ、水面に写った空に、人の空への焦がれる気持ちをあらわします。
3. 川 水を集めた川。激流をくだり、下へ下へと行くほかない川。
やがて川は海に流れ込みます。流れる川のさまざまな姿の中に、人間の心の中の悲しみ、憧れを表現しています。
4. 海 全ての川の水を静かに受け容れる海。波は絶えることなく、打ち寄せ、そして引いていきます。
5. 海よ 終曲はすべてのいのちの源である海への賛歌です。
海に帰ってきた『水のいのち』は再び空に昇り、新たな『水のいのち』に生まれ変わります。
すべてのいのちの輪廻がここにあります。



指揮 山田 稔 (やまだ みのる)

大阪府立桜塚高校 音楽部指揮者を経て、大阪市立大学グリークラブ学生指揮者。昭和43年法学部卒業。卒業後は、豊中混声合唱団、阪急東宝グループ男声合唱団で、指揮・合唱活動。平成18年から南漣会合唱団 指揮者。大中 恩、磯部 徹、高田三郎など、詩情あふれる合唱音楽を愛す。好きな言葉は「心で歌う」。尊敬する指揮

者は 須賀敬一氏。



ピアノ 石幸 千照 (いしこう ちあき)

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。演奏学科研究室賞受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。これまでに、岡坂恭子、U.シュニーベルガーの各氏に師事。関西フィルハーモニーオーケストラ、ロシアにて国立アカデミーオーケストラと協演。

大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在、関西女子短期大学非常勤講師、ヤマハ音楽教室講師。合唱団6団体のピアニストを務める。全日本指導者協会会員。

Profile

南漣会合唱団は1940年（昭和15年）大阪商科大学（現大阪市立大学）グリークラブOBと現役部員によって創設された男声合唱団を起源とし、この年に第1回演奏会を開催しました。

南漣会の名称は、大学が大阪市南部にあることと市章の「みおつくし（漣標）」から採っております。翌1941年第二次世界戦争に突入、戦中戦後の混乱期を挟んだため、残念ながら、演奏活動の詳細な記録は残っていません。ただ、昨年南漣会創立70周年を迎えたことから、近々「南漣会創立70周年記念誌」を発刊するために、第1回演奏会の貴重な写真や長老OBの方々の思い出座談会等で或る程度混乱期に散逸、欠落したところが明らかになってくるものと期待しています。

また、1946年（昭和21年）にスラブ系民謡・ロシア正教聖歌を主たるレパートリとする男声合唱団「ジュピター・コール」が創設され、その創設に有力OBが参画し、南漣会の多くのOBや一部現役グリー部員も加入、大阪の代表的な男声合唱団として活発に演奏活動を続けていたことから、南漣会は事実上、OBの親睦団体、現役グリークラブを支援する組織になりました。

合唱活動を再開したのは1953年でしたが、1980年に母校が100周年を迎えるのを契機に、前年の1979年に南漣会とは別に「南漣会合唱団」を組織し、合唱活動を軌道にのせました。

その後団員をグリークラブOBに限定することなく、男声合唱愛好者の参加も得て、原則隔年開催の「南漣会合唱団演奏会」と、この「旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会」や、毎年開催し、来年5月27日（日）には当会場で第32回（32年目）を迎える「五つの男声合唱の集い＝ANCORの会」などを中心に、男声合唱団として活発に活動しております。

さらに、8年まえに創設し、すでに3回のリサイタルを成功させ、昨年の70周年記念演奏会にも出演した「東京南漣会合唱団」の仲間達が、今回は同一ステージに立ちます。

平素は東西で別れて練習している80余人で、高田三郎先生が繊細な情感を随所に盛り込んで作曲された「水のいのち」をどこまで表現できるのか、学生時代に培ったメンタルハーモニーに人生経験をプラスして乗り切りたいと考えております。

(南漣会合唱団 米田直也)



合同演奏

男声4部合唱曲「SPIRITUALS(黒人霊歌)」

Bill Anderson 編曲

16世紀末頃から約300年間、北米南部の農園の労働力としてアメリカに拉致され奴隷労働に従事したアフリカ人は、アメリカ市民戦争（南北戦争）以前の数十年間に、霊歌を含む様々な形の音楽を作り、後のアメリカ音楽に大きな足跡を残しました。ゴスペル、ラグタイム、ジャズ、リズムアンドブルース、ロックンロール、そしてラップなどです。その最も重要なものの一つが霊歌です。18世紀の後半から19世紀初頭にかけて、多くのアフリカ人奴隷がキリスト教に改宗しましたが、そこに諸部族の信仰と伝統を混合させ独自の形に変えました。霊歌とは旧約・新約聖書の物語を取り込み、信仰、自由、希望と救済を歌うものですが、それらは家畜に等しい束縛された生活についての深い悲しみと同時により良い生活への希望をも表しています。旋律や歌詞に様々な異本が存在するのは多くの古い民謡と同じです。

1. Sometimes I Feel Like A Motherless Child

「私は時に母のない児のように思う、故郷を遠く離れて・・・」と歌うこの歌は、両親から引き裂かれた子どもの苦痛と絶望の表現です。奴隷制時代、奴隷の子どもを両親から取上げ奴隷市場に売り出す事は一般的な習慣でした。「sometimes」と繰り返す言葉は、逆説的に「時には」母のない児のように思わない、という多少の希望も暗示していると考えられます。また「motherless child」は、故郷（アフリカ）を恋い焦がれ、「a long ways from home」は故郷を遠く離れた、奴隷であり、また故郷（home）は天国であるなど、隠された意味を持っているのです。

2. When The Saints Go Marchin' In

「聖者が町にやってくる時、私もその列に入りたい・・・」と歌うこの歌は、時にゴスペル聖歌と思われていますが、霊歌として発生したものです。この歌の伝統的用途は葬送行進曲であって、ニューオーリンズの伝統的葬送はジャズ葬送とも呼ばれます。棺を墓地に送る時この曲は葬送歌として演奏され、埋葬からの帰途にはアップビートの「ホット」または「ディキシーランド」スタイルに切り替えられるのです。ここでいうSAINTSは聖者と訳されますが、彼らにとってはキリスト教信者がすなわちセインツなのです。

3. Michael

「マイケルが小舟を岸に漕ぐよ ハレルヤ」と歌うこの歌は市民戦争の間に、南カロライナ州の海上の島を封鎖する北軍が到着する前に、持ち主が放棄した元奴隷たちが歌っていたものを、この島の監督としてやってきたCharles Pickard Wareが楽譜に書き留めたものです。キリスト教徒の伝承によれば「大天使」マイケルは死者の魂の案内人とみなされます。したがってJordan川は死（奴隷からの解放）への譬えであり、shoreは、天国の渚（入り口）と見ることが出来ます。

4. Battle Hymn Of The Republic

元々の旋律と歌詞はWilliam Steffeが1856年頃に作曲した曲で、当初南カロライナのメソジストの野外

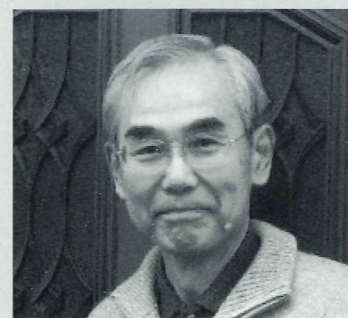
キャンプで黒人自由民が「グローリー・ハレルヤ！」と歌っていたものです。狂信的な奴隷廃止論者ジョン・ブラウンが刑死した後、その功績を称え「ジョン・ブラウンの屍」という替え歌が出来ましたが、これが1861年の市民戦争開戦以来北軍の非公式行軍曲として盛んに唄われました。同年女流詩人のジュリアW.ハウが北軍の演習でこの歌を聴いて感銘を受け、北軍兵士を讃える歌を一夜のうちに作詞しました。『リパブリック讃歌』と名付け、格調高く「神の真理は進軍する」と歌うこの歌は発表されると直ちに北軍兵士の間で最も人気の高い歌の一つとなり、現在でもアメリカ合衆国の愛唱歌として広く唄い継がれています。チャーチルやレーガン、ニクソンなど著名な政治家の葬送曲としても演奏されました。

5. Joshua Fit The Battle Of Jerico

「ヨシユアはイェリコの戦いを闘った・・・」と歌うこの歌は19世紀の前半に奴隷たちによって作られたと思われます。旧約聖書のヨシユア記（6:15-21）に基づくもので、古代イスラエルの民が「約束の地カナン」を目指し、モーセの後継者となったヨシユアに率いられ、カナン人の都市イェリコを攻撃した伝承を歌ったものです。あまたの霊歌と同様その言葉には隠された意味があり、歌詞の最後の「壁は崩れ落ちた」は、奴隷からの脱出を意味しています。

(2011.10. 谷岡 昇)

ESSAY 私の黒人霊歌



南澤会合唱団 石原 潤一

いま私は、1958～61年の旧三商大交歓演奏会のプログラムを前にしてこの原稿を書いています。この4回の演奏曲目を見ると、一橋大はアンダルシア組曲、シューベルトのドイツミサなど外国の曲が多く、神戸大は邦人作品の合唱組曲、外国の民謡や合唱曲などバランスよい選曲、大阪市大は4回とも黒人霊歌を中心としたステージで、それぞれ合唱団のカラーが出ているように思います。

黒人霊歌は、私の学生時代の1950年代から60年代にかけて大学の男声合唱団などで盛んに歌われ、特にわが大阪市大グリーでは特別な存在でした。入部したときに最初に歌ったのは、忘れもしない‘Set Down Servant’、

始めはとっつきにくい歌だなあと感じていましたが、しだいにその魅力に取りつかれ、4年間はニグロに始まりニグロで終わったといっても過言ではないかもしれません。

その後は長い間合唱から遠ざかっており、もっぱらレコードやCDを聴いて楽しんでいました。また北村崇郎氏や小川洋司氏の著作などで、黒人霊歌の歴史やそれぞれの曲の詞の意味するところなども知りました。Deep Riverがノースカロライナ州を流れる河の名前であり、またそのほりに同名の奴隷解放の拠点である野外集会所があったなど‘目から鱗’でした。ここ5年ほどは近所の合唱仲間によるダブルカルテットでも楽しんでます。

あれから半世紀、再び、しかもこの三つの男声合唱団の合同演奏でニグロが歌えることは、それこそ合唱冥利に尽きる思いでいます。